

上手だより



キャッチフレーズ: 花と米と文化を誇り輝き上手, 上手小〜キラリ輝く笑楽校〜

〒895-1503

鹿児島県薩摩川内市祁答院町上手578

電話番号: 0996-55-0025

FAX: 0996-55-0904

ホームページアドレス

<http://www.edu.satsumasendai.jp/kamide-e/>

「見えない苦勞を、想像できる子どもに！」

校長

いよいよ令和4年度も最後の月、まとめの月に入ります。学校では、卒業式・修了式など1年を締めくく大きな行事に向けて慌ただしさを感じる時期ではありますが、逆に「終われば、すべてよし」という言葉があるように、この1か月が大切な時期です。

子どもたちにとっても3月は、年度末の行事の練習とともに、1年間の学習のまとめの時期になります。学校としては、「後1か月しかない。」ではなく、「まだ、1か月ある。」という意気込みで、それぞれの学年の学習内容の定着に向けて、さらに、取り組みを充実させたいと考えています。

さて、11月の脱穀作業の後、「1年間の米作りを振り返ると、子どもたちの活動は、籾まき、田植え、稲刈り、脱穀、餅つきとその時その時の、1、2時間の活動だった。でも、その途中途中には、多くの世話や大変な苦勞があり、見えないところで、誰かが、いろんな世話や苦勞をしてくれたから、今日の活動ができるんだ。」という話をしました。これは、家庭での食事などでもそうです。夕食を食べる時間は、ほんの30分程度だと思いますが、夕食を食卓に出すまでには、買い物に行く、下ごしらえをする、調理する等のその何倍もの時間がかかっているはず。また、子どもたちは、親がどんな仕事をして、その仕事にどんな苦勞があるか知っているのでしょうか？まさか、自分たちが生活で使うお金は、天から降ってきていると思っている子はいないと思いますが・・・(笑)。

もちろん、自分の苦勞を取り立てて、アピールする必要はありませんが、お父さんの苦勞をお母さんが、お母さんの苦勞をお父さんが、いろいろな機会に、それとなく話してあげることは、見えない部分の苦勞を想像する力をつけることにつながると思います。そして、最終的には、世の中の様々な出来事や情報をとらえるときに、表面的な現象や内容にとらわれず、見えない部分、隠れた部分にも思いを巡らせ、想像し、少しでも正しい判断をしようとする力につながるのでは(つながって欲しい)と考えます。

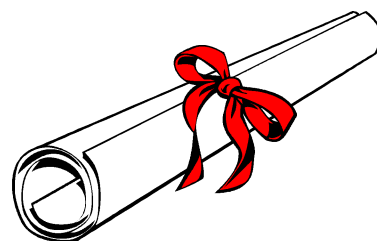
<子育てのことは>

「田んぼの肥やしは、人の足音」

○ 言葉の意味は、良い米を作るためには、人の見えない苦勞(世話)、繊細な苦勞(世話)が不可欠だという意味です。今年1年も、子どもたちのより良い成長のためには、見えない苦勞、繊細な苦勞もあったことと思います。ご苦勞様でした。

3月行事予定

- 1日(水) いじめのない学校づくりの日、授業参観、学校保健委員会、学級PTA
- 2日(木) 卒業式全体練習、移動図書、クラブ活動
- 3日(金) 6年生を送る会、お別れ遠足、地P連評議員会
- 7日(火) 卒業式全体練習、PTA役員会・理事会
- 14日(火) 祁答院中学校卒業式
- 16日(木) 卒業式予行
- 20日(月) 卒業式全体練習
- 22日(水) 卒業式準備
- 23日(木) 第76回卒業式、新中学1年生小中連絡会
- 24日(金) 修了式、離任式、大掃除、集団下校、給食なし



鹿児島学習定着度調査

正答率	国語	社会	算数	理科
本校	69.9	74.1	70.5	85.7
市	69.6	76.5	65.5	69.8
北薩地区	70.3	77.3	66.8	70.9
県	70.9	77.5	67.4	71.7

1月17日（火）と18日（水）の二日間を使って、5年生7名に、鹿児島学習定着度調査を実施しました。結果は、左の表の通りでした。

この結果を受けて、職員間で分析する時間を設け、誤答傾向を把握して、授業改善に向けての具体策を話し合いました。複式の授業の中で、今求められている主体的・対話的で深い学びを実現させるように、今後も努力していきたいと思っています。

新1年生体験入学

1月25日（水）、令和5年度、上手小学校最後の新1年生が体験入学に来てくれました。



来年度からは1・2年生も複式学級となり、男子6名、女子1名のクラスとなる予定です。よろしくお願いいたします。

川内遠行



1月21日（土）に毎年恒例の6年生による川内遠行が行われました。卒業予定の3名と担任の丸崎、保護者の皆さんが参加されました。普段なかなか気がつかない自然に気がついたり、担任と深く話したりできたようで、有意義な

時間だったようです。卒業までのカウントダウンが始まる時期ですが、小学校時代の良い思い出となったことと思います。

児童総会



2月8日（水）に児童総会を実施しました。議題は、「言葉遣い」と「無言掃除」でした。司会団の進行もよく、活発な意見が出されました。また、校則である「上手小よい子の決まり」についても、子供らしい要望が出されました。このことについては、子供たちの意見だけで決める性格のものではありませんが、自分たちで自分たちの決まりについて話し合う姿勢こそ大切なことだと思います。有意義な時間でした。



お茶の入れ方教室



2月15日（水）、5・6年生にお茶の入れ方教室を実施しました。北薩地域振興局主催の取組で、日本茶インストラクターの先生に講師を務めていただきました。子供たちは、入れ方によって変わるお茶の味の变化を体験しつつ、日本の伝統であるお茶という飲み物について、造詣を深めていました。用意してくださった茶菓子のおかげで、苦みのあるお茶も笑顔で飲むことができました。

素晴らしい体験ではなかったかと思っています。



命の授業

2月10日（金）に、カンガルー事業（命の授業）を助産師の先生に来ていただき、5・6年生に実施しました。内容は生命の誕生の不思議についてです。図や模型を使って命がどのように誕生してくるのか、妊婦さんはどのくらい大変なのかなどについて、わかりやすく説明してくださいました。

この期の子供達は徐々に性に目覚めてくるころだと思います。生命の不思議や神秘に触れて、どの子も真剣そのものでした。

